

### 気を緩めずに

9月18日(土)から20日(月)までの三連休、子どもたちも保護者の皆様も、新型コロナウイルス感染症防止を第一に過ごしたことと思います。新規感染者数ほかは減少しているものの、特段の安心材料があるわけでもないようです。9月1日(水)の始業式から緊張感をもってはじまった2学期です。まだまだ、気を緩めずに毎日の学校生活を続けていきましょう。

農大稲花小では、体育の授業ではソーシャルディスタンスを確保する目安にフラフープを利用したり、うがいなどのために使う水道(流し)をと手を洗う通常の水道を区別して分けたり、と工夫を積み重ねています。登下校の公共交通機関内でのおしゃべりもストップ。給食も黙って食べます。今まで考えられなかったような習慣が日常となる新型コロナウイルスとともにある社会も、2年目の秋を迎えました。気を緩めることはできませんが、何かとストレスを感じる子どもたちにとって、学校生活が少しでも楽しいものになるように、教職員も一層の努力をしてみたいです。

### バナナの花を見たことありますか？

9月13日(月)、1年生の理科は校長が担当しました。植物病理学者としてバナナの病気の研究を行ってきたことから、各国のバナナに接してきました。その経験から授業では、バナナの茎の断面を見せてバナナが木ではなく草であることを示すところからスタート。インドネシアで食べた種のあるバナナやフィリピンの赤いバナナ、ミャンマーの金色(に見える)バナナの話、さらに大きな葉っぱ、果物ではない料理用バナナやバナナの花(花苞)の実物を見たりしながら、バナナへの理解を深めました。



バナナの花 断面



バナナの花苞



赤いバナナ モラード

素直な子どもたちの反応に、授業をする方も楽しくなります。また、学びを身に付けたり、考

えを巡らせたりするには、素直な心であることが一番です。農大稲花小では、実物に触れたり栽培したりしながら、イネ、マメ類、イモ類など、重要な農作物についての学びを積み重ねていきます。2学期の稲花タイムでは、1年生はダイコン、2年生はカブ、3年生はコマツナの種まきも行いました。

## 第20回「食と農と環境を考える世界学生サミット(ISS)」にビデオ参加

東京農業大学が主催する世界学生サミット。新型コロナウイルスのため、去年は開催が見送られましたが、今年オンラインでの開催となりました。9月14日(火)から17日(金)まで、世界25か国・地域から58名の代表学生が参加するものです。

このISSに、農大稲花小の3年生も、Voices from Next Generation-Elementary School Students' Voiceと題するビデオで参加しました。テーマはSDGsと私たちの夢。子どもたちはそれぞれに、大きくなったらなりたいものについて、英語で伝えました。このビデオにはさっそく、30以上のコメントが世界の学生さんから届いています。

世界学生サミット：<https://www.isstokyonodai.net/>



## 大粒のシャインマスカット

開校初年度の2019年には農大稲花小一年生全員に桃を、また去年はシャインマスカットをプレゼントして下さった校友(東京農業大学卒業生)の手塚様から、今年もみごとなシャインマスカットを頂きました。9月16日(木)に予定のメニューに加えて甘くて大粒のシャインマスカットが給食の時間に供され、また、産地である南アルプス市を紹介するビデオも視聴しました。黙食の中、ドローンによるきれいな風景や、シャインマスカットの収穫の様子などを見ることができました。



様々なフルーツの里、新型コロナウイルスが収まったら訪ねてみたいですね。

南アルプス市：<https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/kankou/>

## 稲束を届けていただきました

9月17日(金)は、神奈川県田奈の田んぼで農大稲花小の子どもたちが稲刈りをする予定でした。しかし、緊急事態宣言の延長により、子どもたちによる稲刈りは残念ながら中止。5月21日

(金)に1年生が田植えした稲はどうなってしまうのか？ 1年生も胸を痛めていたところでした。

ところが、9月17日(金)、東京農業大学農芸化学科の加藤拓准教授と大学院生3人が、この稲を収穫して農大稲花小まで届けてくださったのです。コンテナ3個分の稲です。このご親切には感謝してもしきれないものがあります。三連休明けに、1年生と2年生は少しずつ自宅に持ち帰り、家族の皆さんと稲を見て楽しくお話をすることができることになりました。3年生は図画工作で稲束の絵を描いたり、稲花タイムで稲穂の観察をしたりする予定です。稲束のいい香りが、漂っています。加藤先生、大学院生の皆様、本当にありがとうございました。



東京農業大学農芸化学科：<https://www.nodai.ac.jp/academics/app/app/>

校長 夏秋 啓子